



第48回 研究員集会

新型コロナ時代における大学教育 (2回シリーズ)

開催日時:2020年11月20日(金) 14:30~16:30

2020年12月4日(金) 14:40~16:30

会場: Zoomによるオンライン開催

※お申込みされた方に参加用URLを前日までにご連絡いたします

趣旨

2019年末からの新型コロナウイルス感染症の世界的な流行によって、世界の経済活動が物理的な移動を最小化するオンラインとシャットイン・エコノミーとマイクロツーリズムに移行した事で、多数の産業が深刻なダメージを負った。大学の経営、教育活動、留学生の受け入れ・送り出し、などもしかりである。

大学において、キャンパスは閉鎖され、全学委員会は必要最低限にオンラインで実施されている。教育活動はオンライン授業が主流となっており、研究活動は3密を避けて、個人的な活動は可能ではあっても、動物や細胞を使った実験、海外渡航、フィールドワークを伴う研究などは十分に行えていない。これらの活動によって、必要最低限の学術的成果は出ているものの、学生からは様々な苦悩が届けられている。

今年度の研究員集会では、2回シリーズで、令和2年1月下旬に第1号新型コロナ患者が発生して以降の大学教育の実践や課題について情報交換することで、新型コロナ時代・以降の大学教育の在り方について考える契機としたい。

申し込みURL

<https://rihe.hiroshima-u.ac.jp/2020/10/2020-48th-11-20-12-4/>

主催: 広島大学高等教育研究開発センター

共催: IDE大学協会中国・四国支部

11月20日（金）14：30～16：30
シリーズ1
新型コロナ時代における大学教育

総合司会 大場 淳（広島大学高等教育研究開発センター（RIHE）准教授）

14：30～14：40 開会挨拶 宮谷 真人（広島大学理事/副学長（教育担当））

14：40～14：50 センター長挨拶 小林 信一（RIHEセンター長）

14：50～15：00 趣旨説明 大膳 司（RIHE副センター長/教授）

司会 蝶 慎一（RIHE助教）

15：00～15：30 事例報告1

『COVID-19対策としての山梨大学における授業のオンライン化の総括』

埜 雅典（山梨大学大学教育センター長）

15：30～16：00 事例報告2

『新型コロナ時代の広島大学の国際交流教育の課題と工夫』

フク・カロリン（広島大学総合科学部国際共創学科長）

16：00～16：30 質疑・応答

12月4日（金）14：40～16：30
シリーズ2
新型コロナ時代における大学経営

14：40～14：50 趣旨説明 大膳 司（RIHE副センター長/教授）

司会 藤村 正司（RIHE教授）

14：50～15：20 事例報告1

『コロナ禍と法人・大学統合が同時進行する大学経営』

濱名 篤（関西国際大学 学長・学校法人濱名山手学院 理事長）

15：20～15：50 事例報告2

『ウィズコロナ時代における大学経営～立命館大学の取り組みから～』

志方 弘樹（学校法人立命館 専務理事）

15：50～16：20 質疑・応答

16：20～16：30 閉会挨拶 辰井 聡子（RIHE教授）